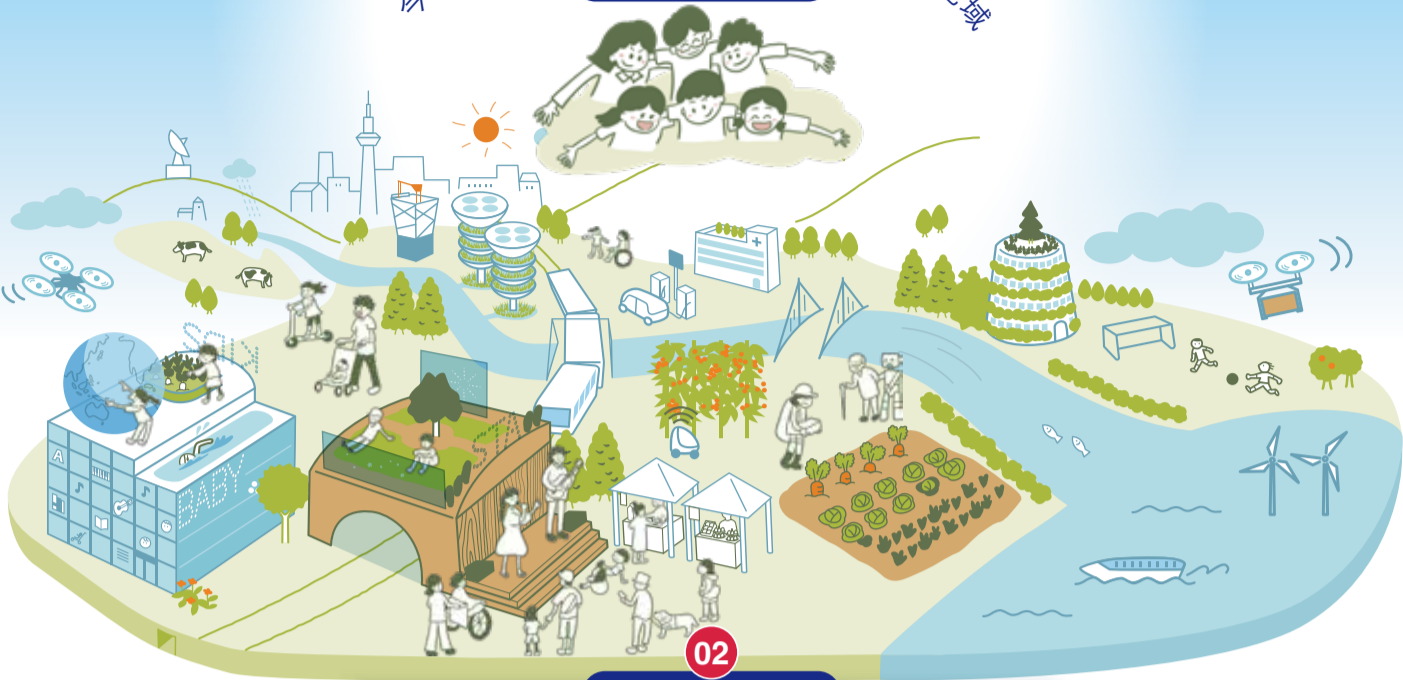
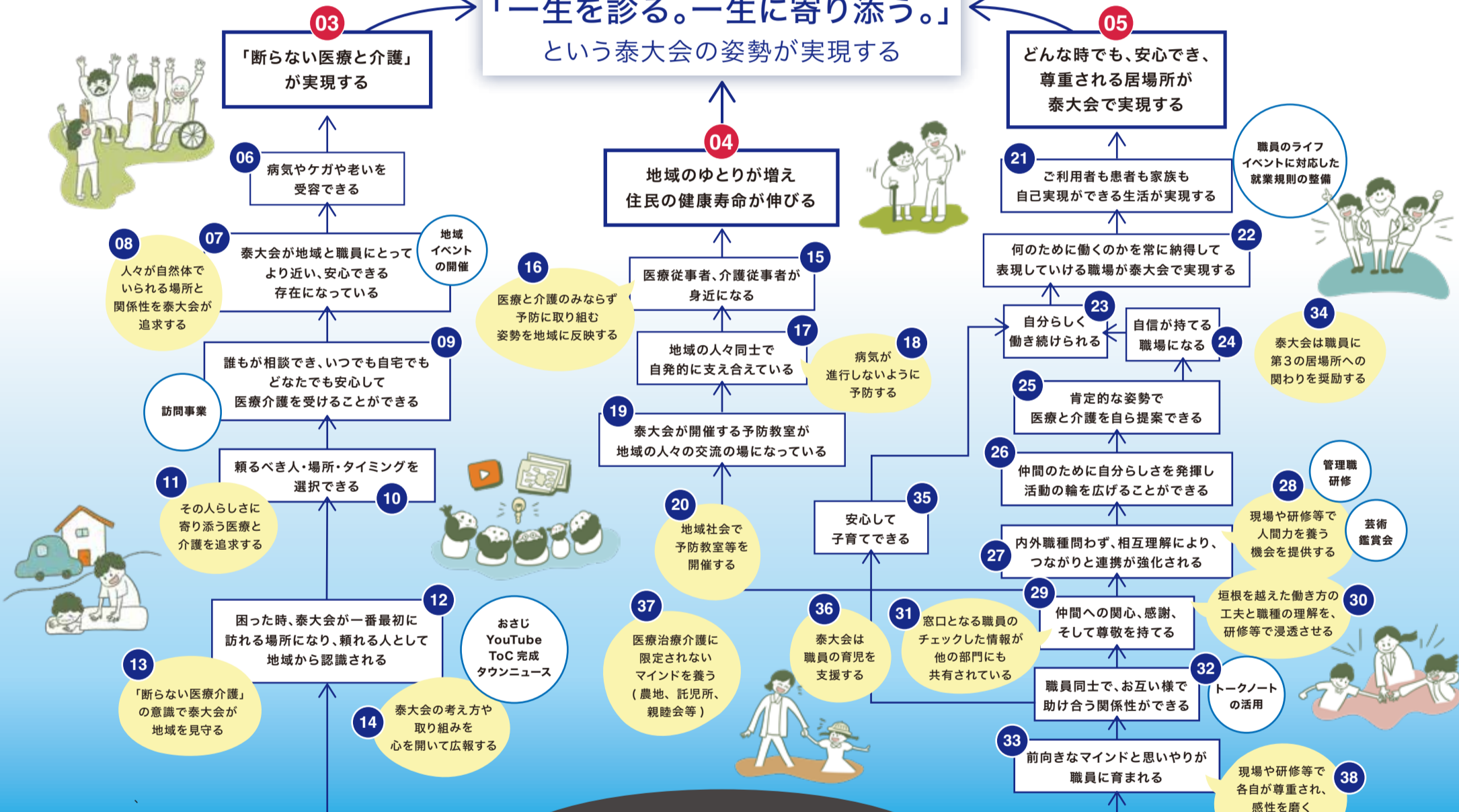


今もこれからも 自分らしく安心して暮らせる地域



02 長期成果

「一生を診る。一生に寄り添う。」
という泰大会の姿勢が実現する

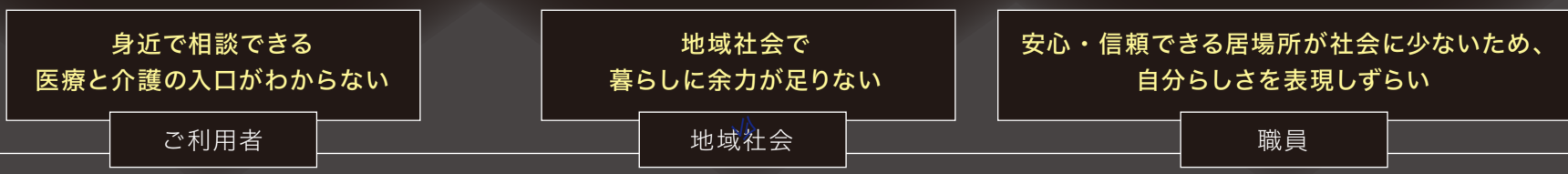


地域のネットワークに目を背けてしまう

現状の医療や介護の仕組みが 本当の安心につながっていない

組織が未完である

- 「地域と向き合うマンパワーが不足」
- 「農山漁村の文化や風習が都会で知られていない」
- 「モノを作る文化を忘れてしまった」
- 「他責思考になり、正面から受け止めて対処できていない」
- 「人間の成長が実感できず、職場に自信を持っていない」
- 「仕事の価値観や職種の多様性等が」
- 「業務遂行に必要な人間力が未熟である」
- 「心技体が揃っていない」
- 「会社を好きと思っていない」
- 「仕事を好きと思っていない」
- 「人間力が弱ってしまう」
- 「納められないまま労働せざるを得ない」
- 「つながりが見えずに不安な社会になっている」
- 「現代社会が自然の摂理から乖離している」
- 「予防や健康寿命への意識が希薄である」
- 「経済の車輪と心の車輪のバランスが崩れてしまう」
- 「医療と介護の仕組みが複雑であり、縦割りで、ワンストップできない」
- 「感性が軽視される風潮がある」
- 「つながりが見えずに不安な社会になっている」
- 「家族力・地域力の減退」
- 「少子化」
- 「人間力が弱ってしまう」
- 「人間力が弱ってしまう」
- 「多すぎる選択肢 他人事の地域社会」
- 「不自然な社会」
- 「医療制度と介護制度が複雑難解」
- 「利用者の経済的問題」
- 「頼れる存在の欠如」
- 「期待せぬ介護生活の始まり」
- 「専門家との上手な距離感がつかめない」
- 「教わらない専門職との付き合い方」
- 「自分が主体である意識の希薄化」
- 「対価としてのサービス享受」
- 「医療機関を知らない、行けない」
- 「つながりが見えずに不安な社会になっている」
- 「家族力・地域力の減退」
- 「少子化」
- 「人間力が弱ってしまう」
- 「人間力が弱ってしまう」
- 「多すぎる選択肢 他人事の地域社会」
- 「不自然な社会」
- 「医療制度と介護制度が複雑難解」
- 「利用者の経済的問題」
- 「頼れる存在の欠如」
- 「期待せぬ介護生活の始まり」
- 「専門家との上手な距離感がつかめない」
- 「教わらない専門職との付き合い方」
- 「自分が主体である意識の希薄化」
- 「対価としてのサービス享受」
- 「医療機関を知らない、行けない」
- 「つながりが見えずに不安な社会になっている」
- 「家族力・地域力の減退」
- 「少子化」
- 「人間力が弱ってしまう」
- 「人間力が弱ってしまう」



社会の仕組みの不備
Systemic Problem